

# ハートキャッチカードを配布

## 西脇市青少年問題協議会と共同制作

### 子どもを守る“ハートキャッチカード”

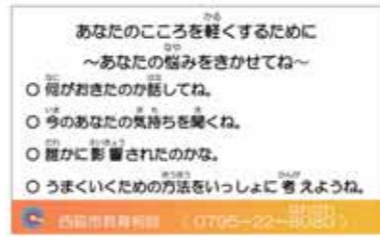
市教育委員会は、いじめや虐待で悩む子どもたちが相談しやすい環境をつくるため、青少年を取り巻くさまざまな問題を協議する西脇市青少年問題協議会とともに、「子どもの心を受け止める」という意味の「ハートキャッチカード」を作成しました。

ハートキャッチカードは、子どもたちに対して「いつでも相談に乗るよ」という大人の姿勢を示すもので、イギリスやオーストラリアの「ピア・サポート(※)」の考えを基にしています。兵庫教育大学の池島徳大特任教授から助言いただき、協議会委員の意見を反映して作成しました。

カードの表面には、教育相談先の電話番号や、青少年センターにメールができるQRコードを掲載。裏面には相談を聞くときの手順を示しています。

### 子どもに関わる方々に配布

4月上旬に子どもたちを通して、市内の小中学校としばざくら幼稚園、認定こども園、認可外保育園の保護者のほか、見守り隊や教職員、スポーツクラブの指導者など、子どもたちに関わりのある方に配布しました。



ハートキャッチカード

保護者の皆さんには、子どもが悩んでいる様子を感じたときに、カードの内容を参考にしながら子どもと対話していただきたいと考えています。また、見守り隊の皆さんと教職員は、子どもたちに見えるように名札ケースにカードを入れて活用します。

### ◆問合せ

青少年センター(総合市民センター内/☎22-4000)

### ※ピア・サポート

子どものニーズに応じて大人がチームで支え、子どもが頑張ることができる力を育てる取り組み。



## 就職氷河期世代・若者自立支援相談

# あなたの“働きたい”を応援！

### 自立を目指して

若者人口が減少している一方で、就職氷河期世代を加えた15歳から49歳までの就業や家事、通学をしていない方は、全国で約120万人いるとされています。厚生労働省ではこうした未来を支える人材の就労を支援しようと、全国で「地域若者サポートステーション事業」を行っています。

### 無料の個別相談

この事業は、就労支援のノウハウを持つ専門機関に委託して実施されています。西脇市では、一般社団法人ひょうご若者自立支援センター「あかし若者サポートステーション」が「就職氷河期世代・若者自立支援相談」窓口を開設。専門の相談員が相談者や家族

の思いと希望を伺い、自立して働き続けられるようにサポートしています。

### セミナーや職場体験も実施

相談は、社会で自分らしく活躍していくための第一歩。そのため、センターでは就労に必要な技能を習得するセミナーのほか、職場体験や就職後の相談なども行っています。このような継続した支援を通して相談者が自信を持ち、仕事に定着できるよう取り組んでいます。

### 対象年齢を拡大

4月からは若者だけでなく、就職氷河期世代に当たる40代の方の就労もサポート。社会との新たなつながりを作ることで、社会参加ができるように、40歳から49歳までの方も対象としました。

### 相談窓口

#### ◆とき

毎月第1・3木曜日  
午後1時～4時/予約優先  
※相談時間=1回50分

#### ◆ところ

茜が丘複合施設みらいエウォークルーム

#### ◆予約・問合せ

あかし若者サポートステーション (☎078-915-0677)

## 相談員に聞きました！

### ー心掛けていることは

生い立ちや職務経験などが同じ方はいません。相談者の今の状況、希望をしっかりと聞いて、相談者のペースに合った支援を心掛けています。

### ー相談窓口の特長は

「できる」という成功体験を増やすために、相談者に合わせてボランティア活動や職場体験をします。一人で参加することに抵抗がある人には、誰かと一緒に参加する同行支援もしています。

### ーどうすればいいかわからない人も多いのでは

みらいえでの出張相談のほか、オンライン通話でのウェブ面談にも応じています。「何がしたいかわからない」や「就職活動でつまづいて、就職が怖くなった」など、社会での自立に向けて課題を抱える方や、就労への不安がある方など、まずはご相談ください。ご家族からの相談もお待ちしています。



相談員：  
あかし若者サポートステーション  
総括コーディネーター

富田真弓さん

## ごみダイエツト通信

◆環境課 (☎22-3111)

### 第37話 ～「530運動」、知っていますか？

#### 5月30日は「ごみゼロの日」

5月30日は、「5=い」、  
「3=み」、「0=ゼロ」の語呂合わせから、「ごみゼロの日」と定められています。  
「530(ごみゼロ)運動」は、「自分のごみは自分で持ち帰りましょう」を合言葉に、昭和50年に愛知県豊橋市で始まり、全国に広がりました。

されています。

#### お住まいの地域で点検を

西脇市では、年間を通して環境美化パトロールを実施。また、自治会などでは、定期的にクリーン作戦が行われています。



#### ごみ減量とリサイクルを推進

国は平成5年に5月30日を初日とする「ごみ減量化推進週間」を制定。現在は5月30日から「環境の日」の6月5日までの期間を「ごみ減量・リサイクル推進週間」として実施しています。

期間中は、全国各地で3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進運動や、不法投棄監視パトロールなどが展開

#### 私たちの手できれいなまちに

ごみが散乱しているところには、ごみが捨てられやすい傾向があります。「自分たちの地域は自分たちがきれいにする」という気持ちを持ち、私たちが住む西脇市を私たちの手できれいにしましょう。